

【訂正】

委員会報告『透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準 2008』（秋葉 隆，ほか），透析会誌 41(3)：159～167，2008，についてその後の委員会内での検討の結果，数箇所を変更すべき点とミスプリントが認められた，そのためここに訂正を行う。

1. p 159 右段 11 行：「注）上記基準のアクションレベル（汚染が基準値より高度になる傾向を防ぐために，措置を講じる必要がある汚染度）は施設の汚染状況に合わせて設定されるが，本提言では上限値の 50%と定める。」
⇒訂正 「注）上記基準のアクションレベル（汚染が基準値より高度になる傾向を防ぐために，措置を講じる必要がある汚染度）は施設の汚染状況に合わせて設定されるが，本提言では超純粋透析液の ET を除いて上限値の 50%と定める。」

2. p 161 右段 23 行：「Stenivinkel」 ⇒訂正 「Stenvinkel」

3. p 162 左段 31 行：「現在一般的に使用されている ETRF の logarithmic reduction value (LRV) は ET で 4，細菌で 7 程度を有しているため，」
⇒訂正 「現在一般的に使用されている ETRF の logarithmic reduction value (LRV) は ET で 3，細菌で 7 程度を有しているため，」

4. p 162 右段 7 行：「滅菌最終 ETRF の LRV は細菌が 7，ET は 4 であるから 10^{-8} CFU/mL の清浄度が得られ」
⇒訂正 「滅菌最終 ETRF の LRV は細菌が 7であるから 10^{-8} CFU/mL の清浄度が得られ」

5. p 162 右段 20 行：「それに加えて ET レベルで LRV4，細菌レベルで LRV7 の機能を有する最終 ETRF を設置して」
⇒訂正 「それに加えて細菌レベルで LRV7 の機能を有する最終 ETRF を設置して」

6. p 162 右段 31 行：「注）常用対数低減値 (LRV : logarithmic reduction value) とは，除去工程における除去性能の指標で，前値と後値の比の対数をとったもの (\log_{10} (後値/前値)).」
⇒訂正 「注）常用対数低減値 (LRV : logarithmic reduction value) とは，除去工程における除去性能の指標で，前値と後値の比の対数をとったもの (\log_{10} (前値/後値)).」

7. p 163 左段 12 行：「培養試料量は汚染度に依存するか」
⇒訂正 「培養試料量は汚染度に依存するが」

平成 20 年 6 月

秋葉 隆（日本透析医学会学術委員会委員長）

川西秀樹（日本透析医学会学術委員会 血液浄化療法の機能・効率に関する小委員会委員長）